

第6章 地域貢献・情報発信及び管理・運営

第1節 地域貢献・情報発信

1. 概要

(1) 公開講座及び一日体験入学

本研究科及び本学部の研究成果を広く社会に還元する地域貢献の方法は、本来多様であり、すでに述べてきたように、21世紀科学プロジェクト群の活動のいくつかは、社会貢献の意義をもったものも少なくない。また本学の教員・職員が一市民として行っている活動もある。その意味で本章において点検・評価した公開講座と一日体験入学は、本研究科及び本学部の地域貢献の一部であることを最初に断っておきたい。

公開講座のテーマは、広く市民の関心を呼ぶように工夫しており、平成30年度は「日本の美学と芸術」、「芸術と老年」、令和元年度は「数理の世界」、令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大を受けて中止、令和3年度は「広島とヒロシマ」であった。担当教員及び参加者数などは表6-1-1のとおりである。

また一日体験入学は、本学部を受験することを希望している高校生への広報活動という意味だけでなく、広く一般社会人にも門戸を開き、社会貢献のひとつとしての意味も持っている。その呼びかけ文には「あなたも、知的エネルギーの渦巻くこの学部独自の熱い雰囲気を経験してみませんか?」とあり、本学部のユニークさを理解してもらうことを第一の目的として平成7年度以来毎年実施してきた。平成29年度からはオープンキャンパスの2日目に一日体験入学を実施してきたが、年々参加者が減少しているため、平成31年度以降は実施しないこととした。平成30年度の一日体験入学の参加者は、3つの教育領域と国際共創学科から提供されたいずれかの模擬授業を受講した。平成30年度の実施状況は表6-1-2のとおりである。

(2) 広報活動

広報・出版委員会は、平成30～令和3年度においても引き続き、本学部・本研究科所属教員の教育研究活動などに関する情報を、出版物、ホームページなどを通じて積極的に発信してきた。

出版物は、例年どおり、①研究成果及び学位取得者の要旨を掲載する年1回の研究科紀要、年1冊刊行の『叢書インテグラール』(表6-1-3)、②必要な改訂を施した学部案内『無限への挑戦』及び平成29年度版から刷新した大学院研究科案内、③学部学生が編集を担当する年2回発行の『飛翔』である。

なお、ホームページについては、レイアウト及び項目などの見直しを適宜行い、改善に努めるとともに、研究成果、セミナー・イベント開催等最新情報の提供を行っている。

本学部・本研究科として、夢ナビライブ(大学合同説明会)に積極的に参加し、平成30年度に2名の教員が講義ライブを実施した。また、その動画をWebサイトでミニ講義として配信を行っており、特に受験生を対象に積極的に広報を行っている。

2. 点検・評価

(1) 公開講座及び一日体験入学

1) 効果が上がっている事項

公開講座は、社会貢献を主たる目的としており、さらに一日体験入学は受験生への情報提供という意味も併せ持っている。参加者のアンケート結果からは、「専門分野の先生の話が聞けてとてもわかりやすく期待どおりで参考になった」、「学際的知見を多く得られた」、「仕事上役に立ちそうだった」、「新しい知識や考え方を学ぶ機会になった」などのポジティブなコメントがあり、総じて好評である。

2) 改善すべき事項

公開講座については、「質疑応答の時間をもっと取ってほしい」、「講義のタイムスケジュールを明示してほしい」とのコメントがあり、講義時間及び回数については検討が必要であろう。

前述のように、一日体験入学は年々参加者が減少しており、平成 31 年以降は廃止することとした。受験生への広報としての目的はオープンキャンパスにて、地域貢献としての目的は公開講座にて、それぞれ達成が見込まれるため、一日体験入学は役割を終えたものと判断した。

(2) 広報活動

1) 効果が上がっている事項

学部・学科案内は、高等学校などに配布するとともに、入試説明会、オープンキャンパスなどで活用され、本学部・本研究科の教育研究活動の広報に寄与している。また『叢書インテグラール』は、専門的な内容を平易に表現することを目指した教養書であり、その普及は地域貢献に資するものである。

また、夢ナビライブの参加者（受験生）によるアンケート結果からは、「実際に実技を用いた体を動かした内容もあり、スポーツ科学についてもっと深く学びたいと思った」、「運動を科学的にとらえることの重要性が分かり、深く学びたいと思った」、「難しい話で理解が追いつかない部分もあったが、生活にも役立つ内容だったので非常に興味をもてた」、「内容は難しかったが、応用範囲が大きく、総合科学部らしい内容であり、是非大学で学びたいと思った」、「広島大学で本格的に先生の授業や実習を受けたいと思った」、「総合科学に興味が出た」、「総合科学部って訳の分からない学部だと思っていたが、自分の中の視点とは違う視点で、新たな発見がありとても面白かった」とのコメントがあり、志望動機につながるような高評価を得ている。

総合科学部国際共創学科（平成 30 年 4 月設置）では、定員 40 名のうち約半数を海外からの留学生とし、様々な国籍の学生が共に学ぶ国際協働学習の場を提供することを目指している。そのため、学生募集・広報活動として、平成 29 年度には、国際共創学科担当教員が日本国内の高校及びインターナショナルスクール並びにアジア各国・地域の高校（中国、韓国、台湾、インドネシア、タイ、フィリピン、ベトナム、

マレーシア)を訪問し、高校生を対象とした説明会を実施した。

また、コンサルタント会社にリクルート活動を委託し、ベトナムやフィリピンにおいて現地スタッフによる高校訪問やフォローアップを行った。

こうした海外での広報活動に必要なパンフレットやリーフレットを作成し、ホームページをさらに充実させた。

その結果、平成30年度は多様な地域から44名(うち外国国籍を持つ学生15名)の優秀な学生の獲得に繋がった。

2) 改善すべき事項

広報活動は、短期的に志願者増加に結びつくものでは必ずしもない。しかしながら、利用者や出席者の利便性からも必要な検証を行い、他委員会と連携しながら、必要な情報をより効果的に発信していく必要がある。

3. 今後の方針

公開講座については、講義やセミナーを担当する教員に一任している面が多いので、企画そのものの統一性や社会に向けてのアピール度について、より組織的に検討する必要がある。

また、出版物、ホームページのPDCAを継続することも大切である。紀要や『叢書インテグラール』については、その普及に努め、その価値を広く理解してもらう必要がある。ホームページについては、コンテンツの見直し等を行い、戦略的に活用することが重要である。

平成30年度発足の国際共創学科(IGS)の受験生確保のため、海外の高校生に対する説明会をはじめとする情報提供を今後さらに活性化する必要がある。

表6-1-1 公開講座（平成30年度～令和3年度）

年度	平成30年度		
テーマ	日本の美学と芸術	芸術と老年	数理の世界(※1)
担当教員	青木孝夫	青木孝夫	飯間信
	尼ヶ崎 彬	桑島秀樹	阿部 誠
	岩崎陽子	松井 富美男	澁谷一博
	鈴木榮子	鬼本 佳代子(※2)	水町 徹
	金田 晉	末永 航	河村尚明
		城市 真理子	阿賀岡 芳夫
		瀧 一郎	
受講者数	48	47	—
修了者数	34	18	—

(※1)「数理の世界」は台風の影響により中止

(※2)豪雨の影響により休講

年度	平成31（令和元）年度
テーマ	数理の世界
担当教員	飯間 信
	阿部 誠
	澁谷一博
	水町 徹
	阿賀岡 芳夫
受講者数	40
修了者数	40

年度	令和2年度
テーマ	広島とヒロシマ
担当教員	平手友彦
	フック・カリソ
	匹田 篤
	崔 真 碩
	キツニック・ラウリ
	柳瀬 善 治
受講者数	—
修了者数	—

※新型コロナウイルス感染症感染拡大を受けて中止

年度	令和3年度
テーマ	広島とヒロシマ
担当教員	平手友彦
	フック・カリソ
	匹田 篤
	崔 真 碩
	キツニック・ラウリ
	柳瀬 善 治
受講者数	67
修了者数	49

表 6-1-2 平成 30 年度一日体験入学

領域	内容
人間探究領域	倫理学を实践する
自然探究領域	脳とホルモン：食欲vs睡魔 勝つのはどっち？
社会探究領域	〈話〉についての話
国際共創学科	学科説明，質疑応答，ミニ授業，個別相談等

表 6-1-3 『叢書インテグラール』（平成 30～令和 3 年度）

年 度	テーマ	責任編集/著作者	発行所
平成30年度	平和のために戦争を考える— 「剥き出しの非対称性」から	著作者 眞嶋俊造	丸善出版株式会社
令和元年度	ことばの不思議の国 —言語学の魅力がわかる本	責任編集 柴田美紀 執筆者 町田章，山根 典子	丸善出版株式会社
令和2年度	ヒロシマ平和学を問う	著作者 水羽信男	丸善出版株式会社
令和3年度	核時代の科学と社会 —初期原爆開発をめぐるヒストリオグラフィー	著作者 市川浩	丸善出版株式会社

- (9) 教育研究活動等の点検・評価・改善及び公表に関する事項
- (10) 広報及び構成員の意見聴取に関する事項
- (11) その他研究科長室の目的を達成するために必要な事項

学部長室は、本学部における業務の企画・立案及び執行する役割を担っているため、学部長室会議を月2回程度開催し、運営などに関する事項を審議・検討している。

(2) 審議機関

広島大学部局運営規則第11条に基づき、広島大学総合科学部運営内規第10条で「教授会は、学部教授会とする」と定めるとともに、教授会の運営に関し必要な事項は、次の広島大学総合科学部教授会内規、広島大学総合科学部教授会運営細則、広島大学大学院総合科学研究科教授会内規及び広島大学大学院総合科学研究科教授会運営細則において定めている。

広島大学部局運営規則（抄）

（教授会）

第11条 部局に、審議機関として教授会を置く。

2 （略）

3 教授会は、当該部局における次の事項を審議する。

- (1) 長期的な目標、中期目標・中期計画及び年度計画における教育、研究及び社会貢献活動に関する事項
- (2) 教員選考における教育、研究及び社会貢献に係る業績審査に関する事項
- (3) 学生の受入れと身分に関する事項
- (4) 学位の授与に関する事項
- (5) 教育課程に関する事項
- (6) 研究活動に関する事項
- (7) 社会貢献活動に関する事項
- (8) 教育、研究及び社会貢献に係る諸規則の制定及び改廃に関する事項
- (9) その他部局長が必要と認めた教育、研究及び社会貢献に関する事項

広島大学総合科学部教授会内規（抄）

（審議事項）

第3条 教授会は、規則第11条第3項に定める事項を審議する。

（略）

（代議員会）

第8条 代議員会に関し必要な事項は、別に定める。

広島大学総合科学部教授会運営細則（抄）

（審議事項）

第3条 教授会における審議事項は、次に掲げる事項とする。

- (1) 学部における研究及び社会貢献活動に関する事項
 - イ 長期的な目標, 中期目標・中期計画及び年度計画における研究及び社会貢献活動に関する事項
 - ロ 教員選考における教育研究及び社会貢献に係る業績審査に関する事項
 - ハ 研究活動に関する事項
 - ニ 社会貢献活動に関する事項
 - ホ 教育研究及び社会貢献に係る諸規則の制定及び改廃に関する事項
 - ヘ その他学部長が必要と認めた教育研究及び社会貢献に関する事項
- (2) 学部における教育に関する事項
 - イ 長期的な目標, 中期目標・中期計画及び年度計画における教育に関する事項
 - ロ 教員の教育担当に関する事項
 - ハ 学生の受入れ及び身分に関する事項
 - ニ 学位の授与に関する事項
 - ホ 教育課程に関する事項
 - ヘ 教育に係る諸規則の制定及び改廃に関する事項
 - ト その他学部長が必要と認めた教育に関する事項

広島大学大学院総合科学研究科教授会内規 (抄)

(審議事項)

第3条 教授会は、規則第11条第3項に定める事項を審議する。
(略)

広島大学大学院総合科学研究科教授会運営細則 (抄)

(審議事項)

第3条 教授会における審議事項は、次に掲げる事項とする。

- (1) 研究科における教育に関する事項
 - イ 教員の教育担当に関する事項
 - ロ 学生の身分に関する事項
 - ハ 学位の授与に関する事項
 - ニ 教育課程に関する事項
 - ホ 教育に係る諸規則の制定及び改廃に関する事項
 - ヘ その他研究科長が必要と認めた教育に関する事項

学部教授会においては、審議事項について月1回程度開催し審議しており、研究科教授会においては、令和2年度以降、教育に関する事項について、年4回程度開催し審議しており、部局の審議機関としての役割を適切に果たしている。

(3) 各種委員会

本学部・本研究科の運営のために表6-2-1に示したような委員会を設けている。

なお、本報告書のかなりの部分は、これらの委員会の点検・評価に基づいている。

(4) 教員組織

本学部においては、平成 29 年度までは総合科学科のみの 1 学科体制だったが、平成 30 年度に国際共創学科 (IGS) を設置及びそれに伴い 2 学科体制へ移行し、学部教育を行うために、学部併任教員を配置している。

また、総合科学研究科については、平成 30 年度までは、総合科学専攻に 5 つの基幹講座 (行動科学講座, 人間文化研究講座, 環境自然科学講座, 社会文明研究講座, 地域研究講座) と 1 つの協力講座 (情報システム研究講座) を置き、専任教員を配置していたが、研究科再編により、平成 31 年度に、生命科学関連教員が新設の統合生命科学研究科へ配属換, 令和 2 年度に、生命科学関連教員を除く全教員が新設の人間社会科学研究科及び先進理工系科学研究科へ配属換となった。

(5) 事務組織

法人化に伴い従来の部局事務室を見直し、部局における重要事項について企画立案及び業務を執行し、部局長を直接的に支援する組織として部局長室 (総合科学研究科長室) を置き、また、部局の運営を円滑に行うための教育研究学生等支援組織として支援室 (総合科学研究科支援室) を配置した。

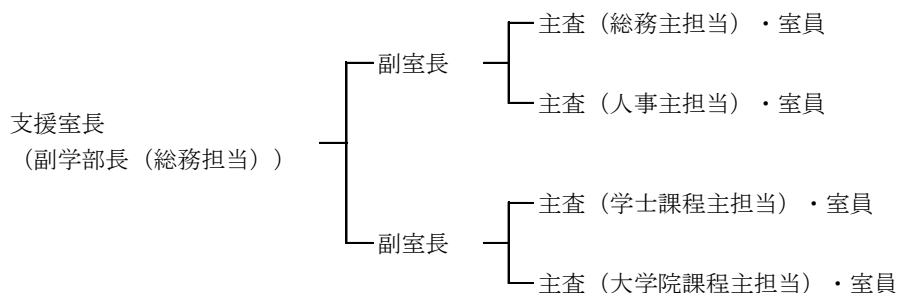
なお、事務組織は、業務の効率的な遂行や人件費削減等の観点から随時見直されている。変更経緯は次のとおりである。

- | | |
|-----------------|---|
| 平成 18 年 4 月 1 日 | 教育研究学生支援室が「支援室」に名称変更 |
| 平成 21 年 4 月 1 日 | 副研究科長 (総務担当) は、支援室長をもって充てることとされた。
部局長支援グループと教育研究活動支援グループを見直し、「運営支援グループ」に名称変更 |
| 平成 22 年 4 月 1 日 | 学生支援グループの職員が教育室所属から総合科学研究科所属に変更 |
| 平成 26 年 6 月 1 日 | 運営支援体制の見直しにより、東広島地区運営支援部総合科学研究科支援室に名称変更
運営支援体制の再編に伴い、財務関係業務を「共通事務室」に集約 |
| 令和 2 年 4 月 1 日 | 研究科の再編に伴い、東広島地区運営支援部総合科学系支援室に名称変更 |

令和 4 年 3 月 31 日現在の支援室の構成は、図 6-2-2 のとおりである。

図 6-2-2

令和4年3月31日現在



(6) 予算・決算

研究科再編以降，人間社会科学研究科，先進理工系科学研究科，統合生命科学研究科それぞれの予算配分要項(各研究科運営会議等で審議)に基づき，教員・プログラム等への配分予算，支援室予算の区分で配分されている。

基盤経費のうち，博士課程前期積算分・博士課程後期積算分は主指導教員に，研究者積算分は各教員に配分している。学士課程積算分は総合科学部担当教員数に基づき該当教員へ配分している。

支援室予算には，総合科学系支援室の所掌する学部・研究科の各委員会のほか，支援室の運営に要する共通予算が配分されている。その中で，学部の独自プロジェクトとして，総合科学推進プロジェクト，学生独自プロジェクトを実施するための予算を毎年度確保しており，新たに発展するプロジェクトの支援を継続して実施している。

また，第3期中期目標期間最終年度である令和3年度に，これまでの共通予算の繰越額も含め予算を確保し，教育研究環境整備事業として広く計画を募り，学部長室会議で審議・決定の上，神経活動イメージング顕微鏡の機能向上やオンライン会議室の整備等に充当した(表6-2-2)。

(7) 教員の個人評価

平成28年度から教員の個人評価を行い，評価結果を給与の昇給に反映させている。平成28年度の評価は平成27年度実績に基づき行い，以降前年度の実績に基づく評価と昇給への反映を行っている。評価項目は教育活動，研究活動，外部資金，社会活動，大学運営の5つに大別し，さらに研究科長調整(令和3年度からは学部長調整)を加えた総合評価を行っている。本研究科における研究領域の多様性から単一の評価基準を用いることは相応しくないため，文系教員と理系教員で各項目内の細目への配点を変えている。また，教授・准教授・講師の配点と助教の配点も教育や大学運営において求められる役割が異なることから異なる配点を用いている。また，これらの個人評価基準に基づいて算出された評価得点を用いて，昇給は文系教授，文系准教授・講師，文系助教，理系教授，理系准教授・講師，理系助教の6つの職階ごとに人数を割り振っている。昇給区分のA(勤務成績が極めて良好)については，何度でも該当者となる機会を与えているが，B(勤務成績が特に良好)については，本研究科の教員の大半が順番に該当者

となり得るような制度設計としている。その理由は、教員のモチベーションの向上を図ると同時に、個人評価基準に反映されない活動へのモチベーションを担保することにある。

なお、教員の個人評価制度は、令和6年度から全学統一の新評価制度に移行する予定のため、令和5年度までは、旧研究科の評価基準による評価を行うこととしている。

2. 点検・評価

本研究科・本学部の全教職員は、全学の規則に従い運営のために必要な組織を整備し、絶えざる点検・評価活動を通じて、自己改革を行ってきた（役職員などについては表6-2-3を参照）。例えば研究科長室会議は、平成30年度43回、令和元年度45回、学部長室会議は、令和2年度25回、令和3年度23回と精力的に企画・立案に努めてきた。また、教授会構成員のコンセンサスを得るために必要な会議は十分に確保した上で、しかし教育・研究業務の妨げとならないように会議の開催数の削減に努めた。その結果、研究科教授会は平成30年度13回、令和元年度9回の開催、学部教授会は平成30年度9回、令和元年度13回、令和2年度11回、令和3年度12回の開催となった（表6-2-4）。これらは、研究科教授会については、平成27～29年度の年平均開催数14回程度より少なく、学部教授会については、平成27～29年度の年平均開催数8回弱よりやや多いが、概ね開催数を抑制できた。構成員への情報提供を担保するために会議資料のネット上での閲覧を可能として効率化を図り、会議の回数や時間の削減を行った。新型コロナウイルス感染症対策のためにオンラインもしくはハイブリットの開催方法を導入したことも、会議の負担軽減につながっている。本研究科・本学部独自のファカルティ・ディベロップメント（FD）も積極的に開催しており、教員の知見を深めるとともに、改革のための意識を高めた（表6-2-5）。

3. 今後の方針・課題など

スーパーグローバル大学創成事業（SGU事業）及び研究大学強化促進事業（RU事業）の遂行に伴い、大学改革が進行中であり、全学レベルでの研究科再編によって、本学部にも大きな影響が生じている。それらの変化に対して、今後とも迅速な情報収集と構成員への伝達をはじめ、学部長室会議及び教授会で適切な対応を考えていく必要がある。学部教員が3研究科に配属となったため、学部と大学院との有機的な連携は今後も特に課題となる。教員組織の再編に伴う事務組織の再編も、同じく教育、研究、社会活動に影響を与えかねないため、引き続き適切に対処することが課題となる。また、国際共創学科（IGS）の創設に伴う留学生の増加から、留学生への教育や事務対応における留意点などについて、今後もFDを通して情報交換する必要がある。さらに研究科再編後の各研究科の動向などもFDを通して迅速に情報を伝えることが求められるであろう。

表6-2-1 各種委員会委員名簿

平成30年度

研究科代議員会

研究科長	岩 永 誠
副研究科長 (学術・社会連携担当)	山 崎 岳
副研究科長 (大学院課程教育担当)	長 田 浩 彰
副研究科長 (学士課程教育担当)	船 瀬 広 三
副研究科長 (総務担当)	山 崎 護
研究科長補佐 (評価担当)	関 矢 寛 史
研究科長補佐 (IGS担当)	フング, カロリン・E.H.
人間科学部門長	和 田 正 信
環境科学部門長	奥 田 敏 統
文明科学部門長	市 川 浩
行動科学講座主任	斎藤 祐見子
人間文化研究講座主任	井 上 永 幸
環境自然科学講座主任	浴 野 稔 一
情報システム研究講座主任	西 村 浩 二
社会文明研究講座主任	青 木 利 夫
地域研究講座主任	水 羽 信 男
21世紀科学プロジェクト委員会委員長	小野寺 真一
広報・出版委員会委員長	荻 田 典 男

人事特別委員会

委員長	副研究科長 (学術・社会連携担当)	山 崎 岳
委員	副研究科長 (大学院課程教育担当)	長 田 浩 彰
	副研究科長 (学士課程教育担当)	船 瀬 広 三
	副研究科長 (総務担当)	山 崎 護
	行動科学講座	坂 田 省 吾
	人間文化研究講座	青 木 孝 夫
	環境自然科学講座	浴 野 稔 一
	社会文明研究講座	青 木 利 夫
	地域研究講座	水 羽 信 男

人事交流委員会

委員長	研究科長	岩 永 誠
委員	副研究科長 (学術・社会連携担当)	山 崎 岳
	副研究科長 (大学院課程教育担当)	長 田 浩 彰
	副研究科長 (学士課程教育担当)	船 瀬 広 三
	副研究科長 (総務担当)	山 崎 護
	人事特別委員会委員	坂 田 省 吾
	人事特別委員会委員	青 木 孝 夫
	人事特別委員会委員	浴 野 稔 一
	人事特別委員会委員	青 木 利 夫
	人事特別委員会委員	水 羽 信 男

評価委員会

委員長	研究科長補佐 (評価担当)	関 矢 寛 史
委員	副研究科長 (総務担当)	山 崎 護
	人間科学部門長	和 田 正 信
	環境科学部門長	奥 田 敏 統
	文明科学部門長	市 川 浩
	人間科学部門 (兼任)	和 田 正 信
	環境科学部門	河 本 尚 枝
	文明科学部門	シュラルプ ハンス ミヒヤエル
	研究科教務委員会選出	渡 邊 誠
	21世紀科学プロジェクト委員会選出	海 堀 正 博
	学部教務委員会選出	有 賀 敦 紀

将来計画委員会

委員長		浮 穴 和 義
委員	副研究科長 (学術・社会連携担当)	山 崎 岳
	評価委員会委員長	関 矢 寛 史
	研究科長が必要と認めた者	小 川 景 子
	研究科長が必要と認めた者	田 口 健
	研究科長が必要と認めた者	佐々木 宏
	研究科長が必要と認めた者	杉 木 恒 彦

財務委員会

委員長		石 坂 智
委員	副研究科長 (学術・社会連携担当)	山 崎 岳
	行動科学講座	和 田 正 信
	人間文化研究講座	青 木 孝 夫
	環境自然科学講座	海 堀 正 博
	社会文明研究講座	吉 村 慎 太 郎
	地域研究講座	水 羽 信 男

広報・出版委員会

委員長		荻 田 典 男
委員	人間科学部門	クレントン ジョン
	人間科学部門	大 島 徹 也
	人間科学部門	進 矢 正 宏
	環境科学部門	横 山 正
	環境科学部門	土 谷 彰 男
	環境科学部門	渡 邊 英 伸
	文明科学部門	渡 邊 誠
	文明科学部門	的 場 い づ み
	文明科学部門	柳 瀬 善 治
	研究科長が必要と認めた者 (国際共創学科)	張 慶 在
	研究科長が必要と認めた者	匹 田 篤

研究科教務委員会

委員長	副研究科長（大学院課程教育担当）	長 田 浩 彰
委員	人間科学部門長	和 田 正 信
	環境科学部門長	奥 田 敏 統
	文明科学部門長	市 川 浩
	生命科学研究領域主任	齋 藤 祐 見 子
	人間行動研究領域主任	坂 田 桐 子
副委員長	身体運動科学研究領域主任	木 庭 康 樹
	言語研究領域主任	井 口 容 子
	人間存在研究領域主任	大 島 徹 也
	自然環境研究領域主任	久 我 ゆ かり
	総合物理研究領域主任	戸 田 昭 彦
	情報システム環境研究領域主任	稲 垣 知 宏
	社会環境研究領域主任	佐 々 木 宏
	文明史基礎研究領域主任	杉 木 恒 彦
	地域研究領域主任	渡 邊 誠
	21世紀プロジェクト委員会選出	小 野 寺 真 一

国際交流委員会

委員長		桑 島 秀 樹
委員	短期留学交流部会委員	丸 田 孝 志
	研究科教務委員会選出	杉 木 恒 彦
	研究科教務委員会選出	久 我 ゆ かり
	学部教務委員会選出	石 川 雅 隆
	学部教務委員会選出	崔 真 碩
	留学生担当教員	河 本 尚 枝

研究科入学試験委員会

委員長		乾 雅 祝
委員	生命科学研究領域	石 田 敦 彦
	人間行動研究領域	杉 浦 義 典
	身体運動科学研究領域	進 矢 正 宏
	言語研究領域	ク レ ン ト ン ジ ョ ン
	人間存在研究領域	眞 嶋 俊 造
	自然環境研究領域	土 谷 彰 男
	総合物理研究領域（兼任）	田 中 晋 平
	情報システム環境研究領域	児 玉 明
	社会環境研究領域	福 田 恵
	文明史基礎研究領域	吉 村 慎 太 郎
	地域研究領域	的 場 い づ み
	21世紀プロジェクト委員会選出	田 中 晋 平

研究科入学試験合格者判定委員会

委員長	研究科長	岩 永 誠
委員	副研究科長（大学院課程教育担当）	長 田 浩 彰
	人間科学部門長	和 田 正 信
	環境科学部門長	奥 田 敏 統
	文明科学部門長	市 川 浩
	入学試験委員会委員	

21世紀科学プロジェクト委員会

委員長		小 野 寺 真 一
委員	研究科教務委員会委員長	長 田 浩 彰
	言語と情報研究プロジェクト	柴 田 美 紀
	文明と自然研究プロジェクト	浅 野 敏 久
	リスク研究プロジェクト	海 堀 正 博
	資源エネルギー研究プロジェクト（兼任）	小 野 寺 真 一
	要素－システム研究プロジェクト	田 中 晋 平
	ヒロシマの形成プロジェクト	水 羽 信 男
	環境平和学プロジェクト	杉 木 恒 彦
	ヒロシマ韓国学プロジェクト	李 東 碩
	教養教育研究開発プロジェクト	青 木 利 夫

研究倫理委員会

委員長		長 谷 川 博
委員	人間科学部門長	和 田 正 信
	環境科学部門長	奥 田 敏 統
	文明科学部門長	市 川 浩
	人間科学部門	小 川 景 子
	環境科学部門	畠 中 憲 之
	文明科学部門	長 坂 格

学部教務委員会

委員長	副学部長（学士課程教育担当）	船 瀬 広 三
	国際共創学科長	フ ン ク , カ ロ リ ン ・ E . H .
副委員長	人間探究領域 教育領域主任	長 谷 川 博
副委員長	自然探究領域 教育領域主任	竹 田 一 彦
副委員長	社会探究領域 教育領域主任	崔 真 碩
委員	人間探究領域	石 川 雅 隆
	人間探究領域	宮 園 健 吾
	人間探究領域	有 賀 敦 紀
	自然探究領域	浴 野 稔 一
	自然探究領域	浮 穴 和 義
	自然探究領域	飯 間 信
	社会探究領域	三 村 太 郎
	社会探究領域	城 戸 光 世
	社会探究領域	浅 野 敏 久
	国際共創学科	山 田 俊 弘

学部卒業生判定委員会

委員長	学部長	岩 永 誠
委員	副学部長（学士課程教育担当）	船 瀬 広 三
	人間探究領域 教育領域主任	長 谷 川 博
	自然探究領域 教育領域主任	竹 田 一 彦
	社会探究領域 教育領域主任	崔 真 碩

学部入学試験委員会

委員長		東 谷 誠 二
委員	人間探究領域	小宮 あすか
	人間探究領域	杉 木 恒 彦
	人間探究領域	山 根 典 子
	自然探究領域	彦 坂 暁
	自然探究領域	田 口 健
	自然探究領域	戸 田 求
	社会探究領域	材 木 和 雄
	社会探究領域	薩 摩 真 介
	社会探究領域	武 田 紀 子
	国際共創学科	ヴィレヌーヴ 真澄美
	国際共創学科	白 川 俊 之

学部入学試験合格者判定委員会

委員長	学部長	岩 永 誠
委員	副学部長（学士課程教育担当）	船 瀬 広 三
	入学試験委員会委員長	東 谷 誠 二
	国際共創学科長	フンク, カロリン・E.H.

放射性同位元素委員会

委員長	放射線取扱副主任者	山 崎 岳
委員	副研究科長（学術・社会連携担当）（兼任）	山 崎 岳
	行動科学講座 （放射線取扱主任者）	石 原 康 宏
	環境自然科学講座 （放射線取扱主任者）	梶 原 行 夫
	放射線障害防止管理者	山 崎 護

安全衛生委員会

委員長	安全衛生責任者（研究科長）	岩 永 誠
委員	衛生管理者	行動科学 有 賀 敦 紀
	衛生管理者	行動科学 根 平 達 夫
	衛生管理者	人間文化研究 柴 田 美 紀
	衛生管理者	環境自然科学 田 中 晋 平
	衛生管理者	環境自然科学 平 山 恭 之
	衛生管理者	社会文明研究 河 本 尚 枝
	衛生管理者	地域研究 柳 瀬 善 治
	衛生管理者	（数理） 澁 谷 一 博
		生物圏 竹 田 一 彦
		外教研 上 西 幸 治
		教育室 柳 本 考 二

国際共創学科運営委員会

委員長	学科長	フンク, カロリン・E.H.
副委員長	副学科長	国際研 片 柳 真 理
委員	学科専任教員	柴 田 美 紀
	学科専任教員	高 谷 紀 夫
	学科専任教員	山 田 俊 弘
	学科専任教員	ヴィレヌーヴ 真澄美
	学科専任教員	河 本 尚 枝
	学科専任教員	田 中 晋 平
	学科専任教員	タフナー ロバート ホースト
	学科専任教員	町 田 章
	学科専任教員	グラジディアン マリア ミハエラ
	学科専任教員	長 谷 川 祐 治
	学科専任教員	白 川 俊 之
	学科専任教員	張 慶 在
	学科専任教員	国際研 金 子 慎 治
	学科専任教員	国際研 関 恒 樹
	学科専任教員	外教研 達 川 奎 三
	学科専任教員	国際研 山 根 達 郎
	学科専任教員	外教研 天 野 修 一
	学科専任教員	生物圏 岩 本 洋 子

大学院再編検討WG 研究科内WG

委員長	全学委員	岩 永 誠
	全学委員	辻 学
	全学委員	戸 田 昭 彦
	全学委員	山 崎 岳
		和 田 正 信
		久 我 ゆ かり
		長 田 浩 彰
		杉 木 恒 彦

総合科学科履修指導小委員会

委員	人間探究領域	有賀 敦 紀
	人間探究領域	宮園 健 吾
	自然探究領域	浮穴 和 義
	自然探究領域	飯間 信
	社会探究領域	浅野 敏 久
	社会探究領域	城戸 光 世

国際共創学科教務小委員会

委員長	山田 俊 弘
委員	フंक, カロリン・E.H.
	山根 達 郎
	<small>グラジディアン・マリア ミハエラ</small>

国際共創学科国際小委員会

委員長	柴田 美 紀
委員	金子 慎 治
	<small>タフナー ロバート ホースト</small>
	河本 尚 枝
	田中 晋 平
	張 慶 在

国際共創学科入試小委員会

委員長	高谷 紀 夫
副委員長	達川 奎 三
委員	関 恒 樹
	白川 俊 之
	<small>ヴィレヌーヴ 真澄美</small>
	<small>タフナー ロバート ホースト</small>

平成31, 令和元年度

研究科代議員会

研究科長	岩 永 誠
副研究科長 (学術・社会連携担当)	戸 田 昭 彦
副研究科長 (大学院課程教育担当)	長 田 浩 彰
副研究科長 (学士課程教育担当)	船 瀬 広 三
副研究科長 (総務担当)	林 公 美
研究科長補佐 (評価担当)	関 矢 寛 史
研究科長補佐 (IGS担当)	フング, カロリン・E.H.
人間科学部門長	和 田 正 信
環境科学部門長	荻 田 典 男
文明科学部門長	市 川 浩
行動科学講座主任	坂 田 省 吾
人間文化研究講座主任	井 上 永 幸
環境自然科学講座主任	浴 野 稔 一
情報システム研究講座主任	西 村 浩 二
社会文明研究講座主任	青 木 利 夫
地域研究講座主任	丸 田 孝 志
21世紀科学プロジェクト委員会委員長	小野寺 真一
広報・出版委員会委員長	荻 田 典 男

人事特別委員会

委員長	副研究科長 (学術・社会連携担当)	戸 田 昭 彦
委員	副研究科長 (大学院課程教育担当)	長 田 浩 彰
	副研究科長 (学士課程教育担当)	船 瀬 広 三
	副研究科長 (総務担当)	林 公 美
	行動科学講座	坂 田 省 吾
	人間文化研究講座	青 木 孝 夫
	環境自然科学講座	浴 野 稔 一
	社会文明研究講座	青 木 利 夫
	地域研究講座	丸 田 孝 志

人事交流委員会

委員長	研究科長	岩 永 誠
委員	副研究科長 (学術・社会連携担当)	戸 田 昭 彦
	副研究科長 (大学院課程教育担当)	長 田 浩 彰
	副研究科長 (学士課程教育担当)	船 瀬 広 三
	副研究科長 (総務担当)	林 公 美
	人事特別委員会委員	坂 田 省 吾
	人事特別委員会委員	青 木 孝 夫
	人事特別委員会委員	浴 野 稔 一
	人事特別委員会委員	青 木 利 夫
	人事特別委員会委員	丸 田 孝 志

評価委員会

委員長	研究科長補佐 (評価担当)	関 矢 寛 史
委員	副研究科長 (総務担当)	林 公 美
	人間科学部門長	和 田 正 信
	環境科学部門長	荻 田 典 男
	文明科学部門長	市 川 浩
	人間科学部門	大 嶋 広 美
	環境科学部門	河 本 尚 枝
	文明科学部門	河 合 信 晴
	研究科教務委員会選出	渡 邊 誠
	21世紀科学プロジェクト委員会選出	海 堀 正 博
	学部教務委員会選出	有 賀 敦 紀

学部将来計画委員会

委員長		浮 穴 和 義
委員	副研究科長 (学術・社会連携担当)	戸 田 昭 彦
	評価委員会委員長	関 矢 寛 史
	研究科長が必要と認めた者	小 川 景 子
	研究科長が必要と認めた者	田 口 健
	研究科長が必要と認めた者	佐 々 木 宏
	研究科長が必要と認めた者	杉 木 恒 彦

財務委員会

委員長		石 坂 智
委員	副研究科長 (学術・社会連携担当)	戸 田 昭 彦
	行動科学講座	長 谷 川 博
	人間文化研究講座	吉 田 光 演
	環境自然科学講座	海 堀 正 博
	社会文明研究講座	吉 村 慎 太 郎
	地域研究講座	丸 田 孝 志

広報・出版委員会

委員長		荻 田 典 男
委員	人間科学部門	クレントン ジョン
	人間科学部門	坂 田 省 吾
	人間科学部門	上 泉 康 樹
	環境科学部門	横 山 正
	環境科学部門	乾 雅 祝
	環境科学部門	渡 邊 英 伸
	文明科学部門	渡 邊 誠
	文明科学部門	薩 摩 真 介
	文明科学部門	春 日 あ ゆ か
	研究科長が必要と認めた者 (国際共創学科)	張 慶 在
	研究科長が必要と認めた者	匹 田 篤

研究科教務委員会

委員長	副研究科長 (大学院課程教育担当)	長 田 浩 彰
委員	人間科学部門長	和 田 正 信
	環境科学部門長	萩 田 典 男
	文明科学部門長	市 川 浩
	生命科学研究領域主任	齋 藤 祐 見 子
	人間行動研究領域主任	坂 田 桐 子
副委員長	身体運動科学研究領域主任	上 泉 康 樹
	言語研究領域主任	井 口 容 子
	人間存在研究領域主任	眞 嶋 俊 造
	自然環境研究領域主任	小 澤 久
	総合物理研究領域主任	宗 尻 修 治
	情報システム環境研究領域主任	隅 谷 孝 洋
	社会環境研究領域主任	佐 々 木 宏
	文明史基礎研究領域主任	杉 木 恒 彦
	地域研究領域主任	渡 邊 誠
	21世紀プロジェクト委員会選出	小 野 寺 真 一

国際交流委員会

委員長		桑 島 秀 樹
委員	短期留学交流部会委員	丸 田 孝 志
	研究科教務委員会選出	上 泉 康 樹
	研究科教務委員会選出	佐 々 木 宏
	学部教務委員会選出	進 矢 正 宏
	学部教務委員会選出	ジュラルフ・ハンス・ミヒヤエル
	留学生担当教員	河 本 尚 枝

研究科入学試験委員会

委員長		乾 雅 祝
委員	人間行動研究領域	杉 浦 義 典
	身体運動科学研究領域	田 中 亮
	言語研究領域	クレントン ジョン
	人間存在研究領域	グラーシ・ディアン・マリア・ミハエラ
	自然環境研究領域	横 山 正
	総合物理研究領域 (兼任)	田 中 晋 平
	情報システム環境研究領域	児 玉 明
	社会環境研究領域	河 本 尚 枝
	文明史基礎研究領域	吉 村 慎 太 郎
	地域研究領域	的 場 い づ み
	21世紀プロジェクト委員会選出	田 中 晋 平

研究科入学試験合格者判定委員会

委員長	研究科長	岩 永 誠
委員	副研究科長 (大学院課程教育担当)	長 田 浩 彰
	人間科学部門長	和 田 正 信
	環境科学部門長	萩 田 典 男
	文明科学部門長	市 川 浩
	入学試験委員会委員	

21世紀科学プロジェクト委員会

委員長		小 野 寺 真 一
委員	研究科教務委員会委員長	長 田 浩 彰
	言語と情報研究プロジェクト	町 田 章
	文明と自然研究プロジェクト	浅 野 敏 久
	リスク研究プロジェクト	海 堀 正 博
	資源エネルギー研究プロジェクト (兼任)	小 野 寺 真 一
	要素-システム研究プロジェクト	田 中 晋 平
	ヒロシマの形成プロジェクト	水 羽 信 男
	環境平和学プロジェクト	杉 木 恒 彦
	ヒロシマ韓国学プロジェクト	李 東 碩
	教養教育研究開発プロジェクト	青 木 利 夫

研究倫理委員会

委員長		長 谷 川 博
委員	人間科学部門長	和 田 正 信
	環境科学部門長	萩 田 典 男
	文明科学部門長	市 川 浩
	人間科学部門	吉 本 早 苗
	環境科学部門	畠 中 憲 之
	文明科学部門	柳 瀬 善 治

学部教務委員会

委員長	副学部長 (学士課程教育担当)	船 瀬 広 三
	国際共創学科長	フンク, カロリン・E.H.
副委員長	人間探究領域 教育領域主任	宮 園 健 吾
副委員長	自然探究領域 教育領域主任	浴 野 稔 一
副委員長	社会探究領域 教育領域主任	三 村 太 郎
委員	人間探究領域	石 川 雅 隆
	人間探究領域	有 賀 敦 紀
	人間探究領域	進 矢 正 宏
	自然探究領域	久 我 ゆ かり
	自然探究領域	石 田 敦 彦
	自然探究領域	飯 間 信
	社会探究領域	ジュラルフ・ハンス・ミヒヤエル
	社会探究領域	城 戸 光 世
	社会探究領域	長 坂 格
	国際共創学科	山 田 俊 弘

学部卒業生判定委員会

委員長	学部長	岩 永 誠
委員	副学部長 (学士課程教育担当)	船 瀬 広 三
	人間探究領域 教育領域主任	宮 園 健 吾
	自然探究領域 教育領域主任	浴 野 稔 一
	社会探究領域 教育領域主任	三 村 太 郎

学部入学試験委員会

委員長		東 谷 誠 二
委員	人間探究領域	小 宮 あすか
	人間探究領域	和 田 正 信
	人間探究領域	山 根 典 子
	自然探究領域	彦 坂 暁
	自然探究領域	児 玉 明
	自然探究領域	戸 田 求
	社会探究領域	材 木 和 雄
	社会探究領域	柳 瀬 善 治
	社会探究領域	武 田 紀 子
	国際共創学科	ヴィレヌーヴ 真澄美
	国際共創学科	白 川 俊 之

学部入学試験合格者判定委員会

委員長	学部長	岩 永 誠
委員	副学部長（学士課程教育担当）	船 瀬 広 三
	入学試験委員会委員長	東 谷 誠 二
	国際共創学科長	フンク、カロリン・E.H.

放射性同位元素委員会

委員長	放射線取扱副主任者	山 崎 岳
委員	副研究科長（学術・社会連携担当）	戸 田 昭 彦
	行動科学講座	石 田 敦 彦
	放射線取扱主任者	石 原 康 宏
	環境自然科学講座 （放射線取扱主任者）	梶 原 行 夫
	放射線障害防止管理者	林 公 美

安全衛生委員会

委員長	安全衛生責任者（研究科長）	岩 永 誠
委員	衛生管理者	行動科学 有 賀 敦 紀
	衛生管理者	行動科学 根 平 達 夫
	衛生管理者	人間文化研究 町 田 章
	衛生管理者	環境自然科学 田 中 晋 平
	衛生管理者	環境自然科学 平 山 恭 之
	衛生管理者	社会文明研究 河 本 尚 枝
	衛生管理者	地域研究 柳 瀬 善 治
	衛生管理者	（数理） 澁 谷 一 博
	衛生管理者	生物圏 竹 田 一 彦
	衛生管理者	外教研 上 西 幸 治
	衛生管理者	教育室 京 下 真 一 郎

国際共創学科運営委員会

委員長	学科長	フンク、カロリン・E.H.
副委員長	副学科長	国際研 片 柳 真 理
委員	学科専任教員	柴 田 美 紀
	学科専任教員	高 谷 紀 夫
	学科専任教員	グラジディアン マリア ミハエラ
	学科専任教員	河 本 尚 枝
	学科専任教員	白 川 俊 之
	学科専任教員	田 中 晋 平
	学科専任教員	タフナー ロバート ホースト
	学科専任教員	長 谷 川 祐 治
	学科専任教員	町 田 章
	学科専任教員	リグスピー カーテイス アントリュー
	学科専任教員	張 慶 在
	学科専任教員	統合生命 ヴィレヌーヴ 真澄美
	学科専任教員	統合生命 山 田 俊 弘
	学科専任教員	国際研 金 子 慎 治
	学科専任教員	国際研 関 恒 樹
	学科専任教員	外教研 達 川 奎 三
	学科専任教員	統合生命 岩 本 洋 子
	学科専任教員	国際研 山 根 達 郎
	学科専任教員	外教研 天 野 修 一

大学院再編検討WG 研究科内WG

委員長	全学委員	岩 永 誠
	全学委員	辻 学
	全学委員	戸 田 昭 彦
	全学委員	和 田 正 信
	全学委員	長 田 浩 彰
	全学委員	杉 木 恒 彦

総合科学科履修指導小委員会

委員	人間探究領域	石川 雅 隆
	人間探究領域	進 矢 正 宏
	自然探究領域	飯 間 信
	自然探究領域	久我 ゆかり
	社会探究領域	城 戸 光 世
	社会探究領域	シュラフ [†] ハンス ミヒヤエル

国際共創学科教務小委員会

委員長		山 田 俊 弘
委員		フंक, カロリン・E.H.
		山 根 達 郎
		グラジディアン マリア ミハエラ
		河 本 尚 枝
		田 中 晋 平
		町 田 章
		岩 本 洋 子

国際共創学科国際小委員会

委員長		柴 田 美 紀
委員		金 子 慎 治
		タファナー ロバート ホースト
		河 本 尚 枝
		田 中 晋 平
		張 慶 在

国際共創学科入試小委員会

委員長		高 谷 紀 夫
副委員長		達 川 奎 三
委員		白 川 俊 之
		ヴィレスレーヴ 真澄美
		タファナー ロバート ホースト

令和2年度

学部代議員会 (学部長が必要と認めたときに開催する。)

学部長	関 矢 寛 史
副学部長 (学術・社会連携担当)	ヴィレヌーヴ 真澄美
副学部長 (学士課程教育担当)	青 木 利 夫
副学部長 (大学院教育連携担当)	長 坂 格
副学部長 (総務担当)	河 野 志 朗
学部長補佐 (評価担当)	丸 田 孝 志
学部長補佐 (IGS担当)	フンク, カロリン・E.H.
広報・出版委員会委員長	坂 田 省 吾

評価委員会

委員長	学部長補佐 (評価担当)	丸 田 孝 志
委員	副学部長 (総務担当)	河 野 志 朗
	人間探究領域	石 川 雅 隆
	自然探究領域	荻 田 典 男
	社会探究領域	佐 々 木 宏
	国際共創学科	岩 本 洋 子
	学部教務委員会選出	的 場 い づ み

※大学院に関する審議事項がある場合は、21世紀科学プロジェクト委員会からも委員が参画する。

広報・出版委員会

委員長	坂 田 省 吾	
委員	人間探究領域	上 泉 康 樹
	人間探究領域	辻 輝 之
	人間探究領域	クレントン ジョン
	自然探究領域	根 平 達 夫
	自然探究領域	田 島 浩 一
	自然探究領域	平 山 恭 之
	社会探究領域	水 羽 信 男
	社会探究領域	薩 摩 真 介
	社会探究領域	春 日 あ ゆ か
	国際共創学科	張 慶 在
	学部長が必要と認めた者	荻 田 典 男
	学部長が必要と認めた者	匹 田 篤

研究倫理委員会

委員長	長 谷 川 博	
委員	人間探究領域	吉 本 早 苗
	自然探究領域	畠 中 憲 之
	社会探究領域	柳 瀬 善 治
	国際共創学科	白 川 俊 之

学部入学試験委員会

委員長	石 坂 智	
委員	人間探究領域	小 宮 あ す か
	人間探究領域	和 田 正 信
	人間探究領域	杉 木 恒 彦
	自然探究領域	長 谷 川 巧
	自然探究領域	児 玉 明
	自然探究領域	土 谷 彰 男
	社会探究領域	渡 邊 誠
	社会探究領域	柳 瀬 善 治
	社会探究領域	武 田 紀 子
	国際共創学科	ヴィレヌーヴ 真澄美
	国際共創学科	関 恒 樹

学部入学試験合格者判定委員会

委員長	学部長	関 矢 寛 史
委員	副学部長 (学士課程教育担当)	青 木 利 夫
	入学試験委員会委員長	石 坂 智
	国際共創学科長	フンク, カロリン・E.H.

学部教務委員会

委員長	副学部長（学士課程教育担当） 国際共創学科長	青木利夫 フンク, カロリン・E.H.
副委員長	人間探究領域 教育領域主任	進矢正宏
副委員長	自然探究領域 教育領域主任	石田敦彦
副委員長	社会探究領域 教育領域主任	匹田篤
委員	人間探究領域	河合信晴
	人間探究領域	大嶋広美
	人間探究領域	有賀敦紀
	自然探究領域	竹田一彦
	自然探究領域	東谷誠二
	自然探究領域	稲垣知宏
	社会探究領域	材木和雄
	社会探究領域	シユラルプ ハンス ミヒヤエル
	社会探究領域	的場いづみ
	国際共創学科	山田俊弘

学部卒業生判定委員会

委員長	学部長	関矢寛史
委員	副学部長（学士課程教育担当）	青木利夫
	人間探究領域 教育領域主任	進矢正宏
	自然探究領域 教育領域主任	石田敦彦
	社会探究領域 教育領域主任	匹田篤

国際共創学科運営委員会

委員長	学科長	フンク, カロリン・E.H.
副委員長	副学科長	片柳真理
委員	学科専任教員	柴田美紀
	学科専任教員	高谷紀夫
	学科専任教員	金子慎治
	学科専任教員	関恒樹
	学科専任教員	ヴィレヌーヴ 真澄美
	学科専任教員	山田俊弘
	学科専任教員	達川奎三
	学科専任教員	グラジディアン マリア ミハエラ
	学科専任教員	河本尚枝
	学科専任教員	白川俊之
	学科専任教員	タフナー ロバート ホースト
	学科専任教員	町田章
	学科専任教員	リグスビー カーティス アンドリュウ
	学科専任教員	山根達郎
	学科専任教員	岩本洋子
	学科専任教員	田中晋平
	学科専任教員	長谷川祐治
	学科専任教員	張慶在
	学科専任教員	天野修一

国際共創学科教務小委員会

委員長	山田俊弘
委員	フンク, カロリン・E.H. グラジディアン マリア ミハエラ
	山根達郎
	河本尚枝
	田中晋平
	町田章
	天野修一
	張慶在
	長谷川祐治
	岩本洋子

国際共創学科国際小委員会

委員長	柴田美紀
委員	金子慎治 タフナー ロバート ホースト
	河本尚枝
	田中晋平
	張慶在

国際共創学科入試小委員会

委員長	高谷紀夫
副委員長	※令和2年度後期はサバティカル研修 達川奎三
委員	ヴィレヌーヴ 真澄美 関恒樹 リグスビー カーティス アンドリュウ
(委員)	※令和2年度後期のみ達川委員の代理 (町田章)

総合科学科履修指導小委員会

委員長	自然探究領域	石田敦彦
委員	人間探究領域	河合信晴
	人間探究領域	有賀敦紀
	自然探究領域	竹田一彦
	自然探究領域	東谷誠二
	社会探究領域	シユラルプ ハンス ミヒヤエル
	社会探究領域	的場いづみ

総合科学研究科に関する委員会

※総合科学研究科に令和2年3月31日に在学する者が総合科学研究科に在学しなくなる日までの間、委員会として存続する。

研究科教務委員会

委員長	副研究科長（大学院課程教育担当）	長 坂 格
委員	生命科学研究領域主任	斎藤 祐見子
	人間行動研究領域主任	小 川 景 子
	身体運動科学研究領域主任	船 瀬 広 三
	言語研究領域主任	井 口 容 子
	人間存在研究領域主任	眞 嶋 俊 造
	自然環境研究領域主任	小 澤 久
	総合物理研究領域主任	荻 田 典 男
	情報システム環境研究領域主任	隅 谷 孝 洋
	社会環境研究領域主任	佐々木 宏
	文明史基礎研究領域主任	杉 木 恒 彦
	地域研究領域主任	柳 瀬 善 治
	21世紀プロジェクト委員会選出	小野寺 真一

21世紀科学プロジェクト委員会

委員長		小野寺 真一
委員	研究科教務委員会委員長	長 坂 格
	言語と情報研究プロジェクト	町 田 章
	文明と自然研究プロジェクト	浅 野 敏 久
	リスク研究プロジェクト	海 堀 正 博
	資源エネルギー研究プロジェクト（兼任）	小野寺 真一
	要素－システム研究プロジェクト	田 中 晋 平
	ヒロシマの形成プロジェクト	水 羽 信 男
	環境平和学プロジェクト	杉 木 恒 彦
	ヒロシマ韓国学プロジェクト	李 東 碩
	教養教育研究開発プロジェクト	青 木 利 夫

令和3年度

学部代議員会 (学部長が必要と認めたときに開催する。)

学部長	関 矢 寛 史
副学部長 (学術・社会連携担当)	ヴィレヌーヴ 真澄美
副学部長 (学士課程教育担当)	青 木 利 夫
副学部長 (大学院教育連携担当)	長 坂 格
副学部長 (総務担当)	河 野 志 朗
学部長補佐 (評価担当)	丸 田 孝 志
学部長補佐 (IGS担当)	フランク、カロリン・E.H.
広報・出版委員会委員長	坂 田 省 吾

評価委員会

委員長	学部長補佐 (評価担当)	丸 田 孝 志
委員	副学部長 (総務担当)	河 野 志 朗
	人間探究領域	井 上 永 幸
	自然探究領域	阿 部 誠
	社会探究領域	佐 々 木 宏
	国際共創学科	岩 本 洋 子
	学部教務委員会選出	的 場 い づ み

※大学院に関する審議事項がある場合は、21世紀科学プロジェクト委員会からも委員が参画する。

広報・出版委員会

委員長	坂 田 省 吾	
委員	人間探究領域	田 中 亮
	人間探究領域	辻 輝 之
	人間探究領域	クレントン ジョン
	自然探究領域	根 平 達 夫
	自然探究領域	田 島 浩 一
	自然探究領域	平 山 恭 之
	社会探究領域	水 羽 信 男
	社会探究領域	崔 真 碩
	社会探究領域	中 屋 敷 千 尋
	国際共創学科	グラジディアン マリア ミハエラ
	学部長が必要と認めた者	荻 田 典 男
	学部長が必要と認めた者	匹 田 篤

研究倫理委員会

委員長	長 谷 川 博	
委員	人間探究領域	加 藤 莊 志
	自然探究領域	畠 中 憲 之
	社会探究領域	シユラルプ ハンス ミヒヤエル
	国際共創学科	白 川 俊 之

学部入学試験委員会

委員長	石 坂 智	
委員	人間探究領域	小 宮 あ す か
	人間探究領域	進 矢 正 宏
	人間探究領域	杉 木 恒 彦
	自然探究領域	長 谷 川 巧
	自然探究領域	久 我 ゆ か り
	自然探究領域	土 谷 彰 男
	社会探究領域	渡 邊 誠
	社会探究領域	武 田 紀 子
	社会探究領域	中 村 江 里
	国際共創学科	ヴィレヌーヴ 真澄美
	国際共創学科	西 真 如

学部入学試験合格者判定委員会

委員長	学部長	関 矢 寛 史
委員	副学部長 (学士課程教育担当)	青 木 利 夫
	入学試験委員会委員長	石 坂 智
	国際共創学科長	フランク、カロリン・E.H.

学部教務委員会

委員長	副学部長 (学士課程教育担当)	青木利夫
	国際共創学科長	フンク, カロリン・E.H.
副委員長	人間探究領域 教育領域主任	有賀 敦 紀
副委員長	自然探究領域 教育領域主任	稲垣 知 宏
副委員長	社会探究領域 教育領域主任	材木 和 雄
委員	人間探究領域	河合 信 晴
	人間探究領域	大嶋 広 美
	人間探究領域	田 中 亮
	自然探究領域	中坪 孝 之
	自然探究領域	東谷 誠 二
	自然探究領域	佐藤 明 子
	社会探究領域	春日 あゆか
	社会探究領域	福 田 恵
	社会探究領域	的場 いづみ
	国際共創学科	山田 俊 弘

学部卒業生判定委員会

委員長	学部長	関 矢 寛 史
委員	副学部長 (学士課程教育担当)	青木利夫
	人間探究領域 教育領域主任	有賀 敦 紀
	自然探究領域 教育領域主任	稲垣 知 宏
	社会探究領域 教育領域主任	材木 和 雄
	国際共創学科長	フンク, カロリン・E.H.

国際共創学科運営委員会

委員長	学科長	フンク, カロリン・E.H.
副委員長	副学科長	片柳 真 理
委員	学科専任教員	ヴィレヌーヴ 真澄美
	学科専任教員	金子 慎 治
	学科専任教員	柴田 美 紀
	学科専任教員	関 恒 樹
	学科専任教員	達川 奎 三
	学科専任教員	山田 俊 弘
	学科専任教員	岩本 洋 子
	学科専任教員	掛江 朋 子
	学科専任教員	河本 尚 枝
	学科専任教員	グラジディアン マリア ミハエラ
	学科専任教員	白川 俊 之
	学科専任教員	田中 晋 平
	学科専任教員	タフナー ロバート ホースト
	学科専任教員	西 真 如
	学科専任教員	長谷川 祐 治
	学科専任教員	町田 章
	学科専任教員	リグスビー カーティス アンドリュウ
	学科専任教員	山根 達 郎
	学科専任教員	天 野 修 一
	学科専任教員	張 慶 在
	学科専任教員	渠 蒙
	学科専任教員	渡邊 千 穂

国際共創学科教務小委員会

委員長	山田 俊 弘
委員	フンク, カロリン・E.H.
	町田 章
	張 慶 在
	長谷川 祐 治
	片柳 真 理
	ヴィレヌーヴ 真澄美
	リグスビー カーティス アンドリュウ
	岩本 洋 子

国際共創学科国際小委員会

委員長	柴田 美 紀
委員	金子 慎 治
	河本 尚 枝
	田中 晋 平
	タフナー ロバート ホースト
	グラジディアン マリア ミハエラ
	渠 蒙

国際共創学科入試小委員会

委員長	関 恒 樹
副委員長	達川 奎 三
委員	ヴィレヌーヴ 真澄美
	リグスビー カーティス アンドリュウ
	西 真 如

総合科学科履修指導小委員会

委員長	人間探究領域	有賀 敦 紀
委員	人間探究領域	田 中 亮
	人間探究領域	大嶋 広 美
	自然探究領域	東谷 誠 二
	自然探究領域	佐藤 明 子
	社会探究領域	的場 いづみ
	社会探究領域	福 田 恵

総合科学研究科に関する委員会

※総合科学研究科に令和2年3月31日に在学する者が総合科学研究科に在学しなくなる日までの間、委員会として存続する。

研究科教務委員会

委員長	副研究科長（大学院課程教育担当）	長 坂 格
委員	生命科学研究領域主任	佐藤 明子
	人間行動研究領域主任	小川 景子
	身体運動科学研究領域主任	船瀬 広三
	言語研究領域主任	井口 容子
	人間存在研究領域主任	<small>リダスビー カーティス アンドリュウ</small>
	自然環境研究領域主任	小澤 久
	総合物理研究領域主任	荻田 典男
	情報システム環境研究領域主任	児玉 明
	社会環境研究領域主任	佐々木 宏
	文明史基礎研究領域主任	<small>シユラルプ° ハノス ミヤエル</small>
	地域研究領域主任	柳瀬 善治
	21世紀科学プロジェクト委員会選出	小野寺 真一

表6-2-2 予算および決算

(単位：千円)

事 項 等	H30年度			RI (H31)年度			R2年度			R3年度		
	予算額	決算額	残額	予算額	決算額	残額	予算額	決算額	残額	予算額	決算額	残額
	プロジェクト	4,560	4,454	106	4,610	4,591	19	1,360	1,186	174	0	0
教育研究	4,094	4,087	7	2,878	2,878	0	3,200	1,103	2,097	5,291	5,201	90
経費	1,509	1,491	18	1,626	1,580	46	1,167	423	744	1,492	1,149	343
(小 計)	10,163	10,033	130	9,114	9,049	65	5,727	2,712	3,015	6,782	6,350	433
計	10,163	10,033	130	9,114	9,049	65	5,727	2,712	3,015	6,782	6,350	433
安全衛生委員会	172	118	54	172	152	20	148	59	89	144	128	16
放射性同位元素委員会	1,370	639	731	1,370	380	990	1,370	416	954	1,336	158	1,178
広報・出版委員会	4,648	4,768	△ 120	4,648	3,311	1,337	3,648	3,141	507	3,557	3,319	238
評価委員会	31	0	31	31	720	△ 689	30	66	△ 36	29	0	29
学部教務委員会	2,300	2,035	265	2,107	1,932	175	1,850	1,819	31	1,805	1,901	△ 96
各種委員	627	444	183	627	259	368	639	83	556	623	316	307
等経費	646	375	271	646	464	182	463	107	356	451	24	427
研究科入試委員会	428	370	58	420	431	△ 11	565	412	153	537	484	53
国際共創学科運営委	6,359	6,140	219	6,167	5,350	817	1,884	2,053	△ 169	2,031	2,099	△ 67
員会	43	49	△ 5	22	29	△ 7	55	39	15	45	0	45
教員免許状更新講習	16,624	14,938	1,686	16,210	13,029	3,181	10,652	8,196	2,455	10,558	8,428	2,129
経費	51,460	40,165	11,294	18,940	16,300	2,640	22,124	14,020	8,104	25,301	31,679	△ 6,378
(小 計)	51,460	40,165	11,294	18,940	16,300	2,640	22,124	14,020	8,104	25,301	31,679	△ 6,378
研究科長	6,498	9,503	△ 3,005	6,507	8,907	△ 2,400	8,596	7,981	615	8,379	7,612	767
配分予算	6,498	9,503	△ 3,005	6,507	8,907	△ 2,400	8,596	7,981	615	8,379	7,612	767
支援室	74,582	64,606	9,976	41,657	38,236	3,421	41,372	30,198	11,174	44,238	47,719	△ 3,481
配分予算	84,745	74,639	10,106	50,771	47,285	3,486	47,099	32,910	14,189	51,020	54,069	△ 3,049
(小 計)	84,745	74,639	10,106	50,771	47,285	3,486	47,099	32,910	14,189	51,020	54,069	△ 3,049
計	74,582	64,606	9,976	41,657	38,236	3,421	41,372	30,198	11,174	44,238	47,719	△ 3,481
総 計	84,745	74,639	10,106	50,771	47,285	3,486	47,099	32,910	14,189	51,020	54,069	△ 3,049

表6-2-3 役職員・部門長・講座主任など一覧

役職員（平成30年度～令和元年度）

役職名	平成30年度	平成31, 令和元年度
研究科長・学部長	岩永 誠	岩永 誠
副研究科長（学術・社会連携担当）・評議員	山崎 岳	戸田 昭彦
副研究科長（大学院課程教育担当）	長田 浩彰	長田 浩彰
副研究科長・副学部長（学士課程教育担当）	船瀬 広三	船瀬 広三
副研究科長（総務担当）	山崎 護	林 公美
研究科長補佐・学部長補佐（評価担当）	関矢 寛史	関矢 寛史
研究科長補佐・学部長補佐（IGS担当）	フंक, カロリン・E.H.	フंक, カロリン・E.H.
研究科長特別補佐（国際交流担当）	荒見 泰史	荒見 泰史
研究科長特別補佐（国際交流担当）	柴田 美紀	柴田 美紀
研究科長特別補佐（大学院再編担当）	辻 学	辻 学

役職員（令和2年度～令和3年度）

役職名	令和2年度	令和3年度
研究科長・学部長	関矢 寛史	関矢 寛史
副学部長（学術・社会連携担当）	ヴィレヌーヴ 真澄美	ヴィレヌーヴ 真澄美
副学部長（学士課程教育担当）	青木 利夫	青木 利夫
副学部長（大学院教育連携担当）	長坂 格	長坂 格
副学部長（総務担当）	河野 志朗	河野 志朗
学部長補佐（評価担当）	丸田 孝志	丸田 孝志
学部長補佐（IGS担当）	フंक, カロリン・E.H.	フंक, カロリン・E.H.
研究科長特別補佐（国際交流担当）	荒見 泰史	荒見 泰史
研究科長特別補佐（国際交流担当）	柴田 美紀	柴田 美紀
研究科長特別補佐（人間社会科学研究科担当）	辻 学	辻 学
研究科長特別補佐（先進理工系科学研究科担当）	小野寺 真一	石坂 智
研究科長特別補佐（統合生命科学研究科担当）	斎藤 祐見子	和崎 淳

研究科部門長（平成30年度～令和元年度）

役職名	平成30年度	平成31, 令和元年度
人間科学部門	和田 正信	和田 正信
環境科学部門	奥田 敏統	萩田 典男
文明科学部門	市川 浩	市川 浩

研究科講座主任（平成30年度～令和元年度）

役職名	平成30年度	平成31, 令和元年度
行動科学講座主任	斎藤 祐見子	坂田 省吾
人間文化研究講座主任	井上 永幸	井上 永幸
環境自然科学講座主任	浴野 稔一	浴野 稔一
情報システム研究講座主任	西村 浩二	西村 浩二
社会文明研究講座主任	青木 利夫	青木 利夫
地域研究講座主任	水羽 信男	水羽 信男

研究科領域主任（平成30年度～令和3年度）

役職名	平成30年度	平成31, 令和元年度	令和2年度	令和3年度
生命科学研究領域	斎藤 祐見子	斎藤 祐見子	斎藤 祐見子	佐藤 明子
人間行動研究領域	坂田 桐子	坂田 桐子	小川 景子	小川 景子
身体運動科学研究領域	木庭 康樹	上泉 康樹	船瀬 広三	船瀬 広三
言語研究領域	井口 容子	井口 容子	井口 容子	井口 容子
人間存在研究領域	大島 徹也	眞嶋 俊造	眞嶋 俊造	リグスビー カー ティス アンド リユー
自然環境研究領域	久我 ゆかり	小澤 久	小澤 久	小澤 久
総合物理研究領域	戸田 昭彦	宗尻 修治	荻田 典男	荻田典男
情報システム環境研究領域	稲垣 知宏	隅谷 孝洋	隅谷 孝洋	児玉 明
社会環境研究領域	佐々木 宏	佐々木 宏	佐々木 宏	佐々木 宏
文明史基礎研究領域	杉木 恒彦	杉木 恒彦	杉木 恒彦	シュルブ* ハンス ミヒヤエル
地域研究領域	渡邊 誠	渡邊 誠	柳瀬 善治	柳瀬 善治

学部領域主任（平成30年度～令和3年度）

役職名	平成30年度	平成31, 令和元年度	令和2年度	令和3年度
人間探究領域 教育領域主任	長谷川 博	宮園 健吾	進矢 正宏	有賀 敦紀
自然探究領域 教育領域主任	竹田 一彦	浴野 稔一	石田 敦彦	稲垣 知宏
社会探究領域 教育領域主任	崔 真碩	三村 太郎	匹田 篤	材木 和雄

表6-2-4 審議機関等

大学院総合科学研究科・総合科学部（平成30年度～令和元年度）

名称	審議事項	構成員	議長	開催回数	
				平成30年度	平成31, 令和元年度
研究科長室会議	(1)長期的な目標、中期目標・中期計画及び年度計画に関する事項 (2)教授会等の審議に関する事項 (3)教育活動、研究活動及び社会貢献活動に関する事項 (4)国際交流に関する事項 (5)人的資源、物的資源及び財的資源の活用に関する事項 (6)規則等の制定及び改廃に関する事項 (7)危機管理及び安全衛生管理に関する事項 (8)情報ネットワーク及び情報セキュリティーに関する事項 (9)教育研究活動等の点検・評価・改善及び公表に関する事項 (10)広報及び構成員の意見聴取に関する事項 (11)その他研究科長室の目的を達成するために必要な事項	研究科長 副研究科長 研究科長補佐 その他必要と認める者	研究科長	43	45
研究科教授会	(1)研究科における研究及び社会貢献活動に関する事項 イ 長期的な目標、中期目標・中期計画及び年度計画における研究及び社会貢献活動に関する事項 ロ 教員選考における教育研究及び社会貢献に係る業績審査に関する事項 ハ 研究活動に関する事項 ニ 社会貢献活動に関する事項 ホ 教育研究及び社会貢献に係る諸規則の制定及び改廃に関する事項 ヘ その他研究科長が必要と認めた教育研究及び社会貢献に関する事項 (2) 研究科における教育に関する事項 イ 長期的な目標、中期目標・中期計画及び年度計画における教育に関する事項 ロ 教員の教育担当に関する事項 ハ 学生の受入れ及び身分に関する事項 ニ 学位の授与に関する事項 ホ 教育課程に関する事項 ヘ 教育に係る諸規則の制定及び改廃に関する事項 ト その他研究科長が必要と認めた教育に関する事項	研究科長 副研究科長 研究科長補佐 研究科専任の教授(前3号に規定する者を除く。) 統合生命科学研究科、情報メディア教育研究センター又は外国語教育研究センターに配属の研究科担当教授	研究科長	13	9
研究科代議員会	(1)長期的な目標、中期目標・中期計画及び年度計画における教育、研究及び社会貢献活動に関する事項 (2)教員の教育担当に関する事項 (3)学生の受入れ及び身分に関する事項(学生の入学、懲戒及び除籍に関する事項を除く。) (4)教育課程に関する事項 (5)研究活動に関する事項 (6)社会貢献活動に関する事項 (7)教育研究及び社会貢献に係る諸規則の制定及び改廃に関する事項 (8)その他教授会から付託された事項	研究科長 副研究科長 研究科長補佐 部門長 講座主任 21世紀科学プロジェクト委員会委員長 広報・出版委員会委員長	研究科長	12	13
学部教授会	(1)長期的な目標、中期目標・中期計画及び年度計画における教育に関する事項 (2)教員の教育担当に関する事項 (3)学生の受入れ及び身分に関する事項 (4)学位の授与に関する事項 (5)教育課程に関する事項 (6)教育に係る諸規則の制定及び改廃に関する事項 (7)その他学部長が必要と認めた教育に関する事項	学部長 副学部長 学部長補佐 学部担当教授(前3号に規定する者を除く。)	学部長	9	13
研究科・学部教員会	審議事項なし 研究科及び学部の教育研究等に関する重要事項について報告及び意見交換	研究科及び学部担当教員	研究科長・学部長	13	12

大学院総合科学研究科・総合科学部（令和2年度～令和3年度）

名称	審議事項	構成員	議長	開催回数	
				令和2年度	令和3年度
学部長室会議	(1)長期的な目標、中期目標・中期計画及び年度計画に関する事項 (2)教授会等の審議に関する事項 (3)教育活動、研究活動及び社会貢献活動に関する事項 (4)国際交流に関する事項 (5)人的資源、物的資源及び財的資源の活用に関する事項 (6)規則等の制定及び改廃に関する事項 (7)危機管理及び安全衛生管理に関する事項 (8)情報ネットワーク及び情報セキュリティに関する事項 (9)教育研究活動等の点検・評価・改善及び公表に関する事項 (10)広報及び構成員の意見聴取に関する事項 (11)その他学部長室の目的を達成するために必要な事項	学部長 副学部長 学部長補佐 その他必要と認める者	学部長	25	23
学部教授会	(1)学部における研究及び社会貢献活動に関する事項 イ 長期的な目標、中期目標・中期計画及び年度計画における研究及び社会貢献活動に関する事項 ロ 教員選考における教育研究及び社会貢献に係る業績審査に関する事項 ハ 研究活動に関する事項 ニ 社会貢献活動に関する事項 ホ 教育研究及び社会貢献に係る諸規則の制定及び改廃に関する事項 ヘ その他学部長が必要と認めた教育研究及び社会貢献に関する事項 (2)学部における教育に関する事項 イ 長期的な目標、中期目標・中期計画及び年度計画における教育に関する事項 ロ 教員の教育担当に関する事項 ハ 学生の受入れ及び身分に関する事項 ニ 学位の授与に関する事項 ホ 教育課程に関する事項 ヘ 教育に係る諸規則の制定及び改廃に関する事項 ト その他学部長が必要と認めた教育に関する事項	学部長 副学部長 学部長補佐 学部専任教授(前3号に規定する者を除く。)	学部長	11	12
研究科教授会	(1) 研究科における教育に関する事項 イ 教員の教育担当に関する事項 ロ 学生の身分に関する事項 ハ 学位の授与に関する事項 ニ 教育課程に関する事項 ホ 教育に係る諸規則の制定及び改廃に関する事項 ヘ その他研究科長が必要と認めた教育に関する事項	研究科長 副研究科長 研究科長補佐 研究科担当の教授(前3号に規定する者を除く。)	研究科長	5	5
学部教員会	審議事項なし 学部の教育研究等に関する重要事項について報告及び意見交換	学部担当教員	学部長	13	12

表6-2-5 総合科学研究科・総合科学部FD実施状況

平成30年度

	開催日時	テーマ	参加人数	講師
第1回	4月18日(水) 15:00~15:30	総合科学推進プロジェクト研究成果発表	97人	小野寺 真一 乾 雅祝 平野 哲男
		流動性の資源や人に注目した新「流域環境学」と里山-里海連携-その多様性と柔軟性に基づく流域環境平和学のために		
		境界を手掛かりとした液体・溶液中に形成される高次構造の総理解		
		全身性強皮症の病態生理解明を目指した分野横断型研究		
第2回	4月18日(水) 15:30~15:40	サバティカル研修報告会	96人	長坂 格
第3回	6月20日(水) 15:00~16:00	留学生をめぐるハラスメント事例とその対応について	84人	横山 美栄子 ハラスメント相談室
第4回	7月18日(水) 14:30~15:00	学生の諸問題について - 深刻なメンタルヘルス問題への対応 -	77人	岡本 百合 保健管理センター
第5回	12月19日(水) 14:40~15:30	A scaffolding approach to teaching presentation skills (支援的アプローチによるプレゼンテーション・スキルの指導演法)	69人	アデル・ピットキートリ シニア・ライティングアドバイザー・フェロー
第6回	3月5日(火) 15:00~16:00	総合科学推進プロジェクト研究成果発表	72人	乾 雅祝 柴田 美紀 進矢 正宏 佐藤 明子 山崎 岳 坂田 省吾
		液体・溶液の不均一構造と社会の様々な境界の総理解		
		国際共創学科新入生の価値観・ステレオタイプ・言語態度の検証とその推移に関わる探索的研究		
		Quantification of Speech-gesture Coupling and Haptic Techniques for Teaching English		
		ゴルジ体とリサイクリングエンドソームにおける膜タンパク質の選別過程における選別因子と選別を受ける積荷タンパク質の局在解析法の確立		
		メチル水銀汚染への新たな生理学的、分析化学的アプローチ		
		発達障害モデルマウスを用いた神経機構と行動の総合的研究		

平成31・令和元年度

	開催日時	テーマ	参加人数	講師
第1回	5月22日(水) 15:00~15:30	サバティカル研修報告	94人	奥田 敏統 町田 章
第2回	6月19日(水) 15:00~16:00	最近のキャンパス・ハラスメント事案について	83人	横山 美栄子 ハラスメント相談室
第3回	6月19日(水) 16:00~16:30	サバティカル研修報告	84人	奥田 敏統 平手 友彦
第4回	10月30日(水) 16:20~18:30	シンポジウム「教養教育から国際性と総合性を共に育てる」	27人	副島 雄児 九州大学共創学部(副学部長) 三木 洋一郎 九州大学共創学部 李 曉燕 九州大学共創学部 星野 晋 山口大学国際総合科学部 Marc Loehr 山口大学国際総合科学部(学部長) フंक、カロリン・E.H. 広島大学総合科学部国際共創学科(IGS)(学科長)
		21世紀プログラムから共創学部へ		
		カリキュラムのコア-協働科目-		
		Class Shareという国際性		
		諸科学の寄せ集めから、総合の仕方の科学へ		
		国際 × 総合 = ?		
		多国籍クラスの授業-スーパーグローバルとアクティブラーニングを超えて		

第5回	3月3日(火) 15:00~16:00	総合科学推進プロジェクト研究成果発表	77人	
		国際共創学科新入生の価値観・ステレオタイプ・言語態度の検証とその推移に関わる探索的研究		柴田 美紀
		モデル構築による社会の様々な境界の総理解		乾 雅祝
		〈みち〉と〈まち〉の風景をめぐる感性哲学——土地固有の地勢とその物語化の諸相——		桑島 秀樹
		大学生の体力向上を目指した教育方法の開発		田中 亮
		Speech-gesture couplingの言語特異性と英語音声教育への応用		進矢 正宏

令和2年度

	開催日時	テーマ	参加人数	講師
第1回	11月18日(水) 14:00~15:00	その論文、世間に通用しますか？プレスリリースが命運を分ける！	103人	山内 雅弥 副理事(広報担当)
第2回	12月2日(水) 14:00~14:45	ハイブリッド授業をなるべく単純に考える	100人	匹田 篤
第3回	1月20日(水) 13:30~13:50	TAの活用と制度の適切な運用について	100人	丸山 恭司 人間社会科学研究科 教育学プログラム / TA制度企画運営WG
第4回	1月20日(水) 13:50~14:50	ハラスメントについて	105人	横山 美栄子 ハラスメント相談室
第5回	2月17日(水) 14:10~14:50	大学の底力を高めるためのSDGs活動への参加機会	93人	金子 慎治 人間社会科学研究科 国際経済開発プログラム / FE・SDGsネットワーク拠点長

令和3年度

	開催日時	テーマ	参加人数	講師
第1回	6月16日(水) 14:00~14:50	総合科学研究科21世紀科学プロジェクト群の活動を振り返って ー将来の総合科学部の進展に向けてー	106人	小野寺 真一 山崎 岳 浅野 敏久
第2回	9月1日(水) 14:00~15:00	総合科学部の教育における学際性	109人	関矢 寛史 丸田 孝志 青木 利夫 山田 俊弘
第3回	1月19日(水) 14:30~14:50	TAの活用と制度の適切な運用について	87人	丸山 恭司 人間社会科学研究科
—	3月7日(月)~ 3月11日(金)	Oxford EMI training session	6人	Oxford大学主催